

2019年3月期 連結決算説明会

2019年5月24日



株式会社 シード



東証一部上場
証券コード
7743

1. 2019年3月期業績総括

2. 2020年3月期見通し

参考資料

1. 2019年3月期業績総括

売上高は既往ピークを更新するも目標未達 海外売上は好調に推移

●主力であるコンタクトレンズ売上高 前期比 **6.5%増**

ワンデーピュアシリーズ **+9%** ワンデーファイン **+6%** サークル・カラー **+2%** (単体卸売ベース)

●海外売上高 前期比 **50.7%増**

中国 **+28%** CLPL連結寄与 **455百万円**

* 現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

積極的な広告宣伝投下等に伴い販管費増加

●粗利率 前期比 **0.7%増**

全体粗利金額が960百万円増

●販管費 前期比 **11.6%増**

積極的な広告宣伝投下、人件費、物流費、買収に伴う一過性の費用等が増加

当初計画を下回り増収減益に

(連結)

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	前期比較	
				前期	増減率
売上高	24,463	27,827	29,489	1,662	+6.0%
粗利益	10,050	12,408	13,369	960	+7.7%
(粗利率)	41.1%	44.6%	45.3%	+1.6 %	
販管費	8,531	10,302	11,494	1,192	+11.6%
営業利益	1,518	2,106	1,874	△231	△11.0%
(営業利益率)	6.2%	7.6%	6.4%	△15.8%	
経常利益	1,364	2,157	1,840	△316	△14.7%
当期純利益	876	1,198	963	△234	△19.6%

(連結)

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2018.5.10付 公表数値	2019.4.15付 公表数値修正	2019年3月期 (2019.5.10発表値)	増減
売上高	31,000	29,460	29,489	+29
営業利益	2,200	1,700	1,874	+174
(営業利益率)	7.1%	5.8%	6.4%	+0.6%
経常利益	2,200	1,700	1,840	+140
当期純利益	1,500	800	963	+163

・流通チャネル多様化による分散の影響
 ・新商品が目標に対して大きく未達等により、
 目標としていた310億円達成ならず。

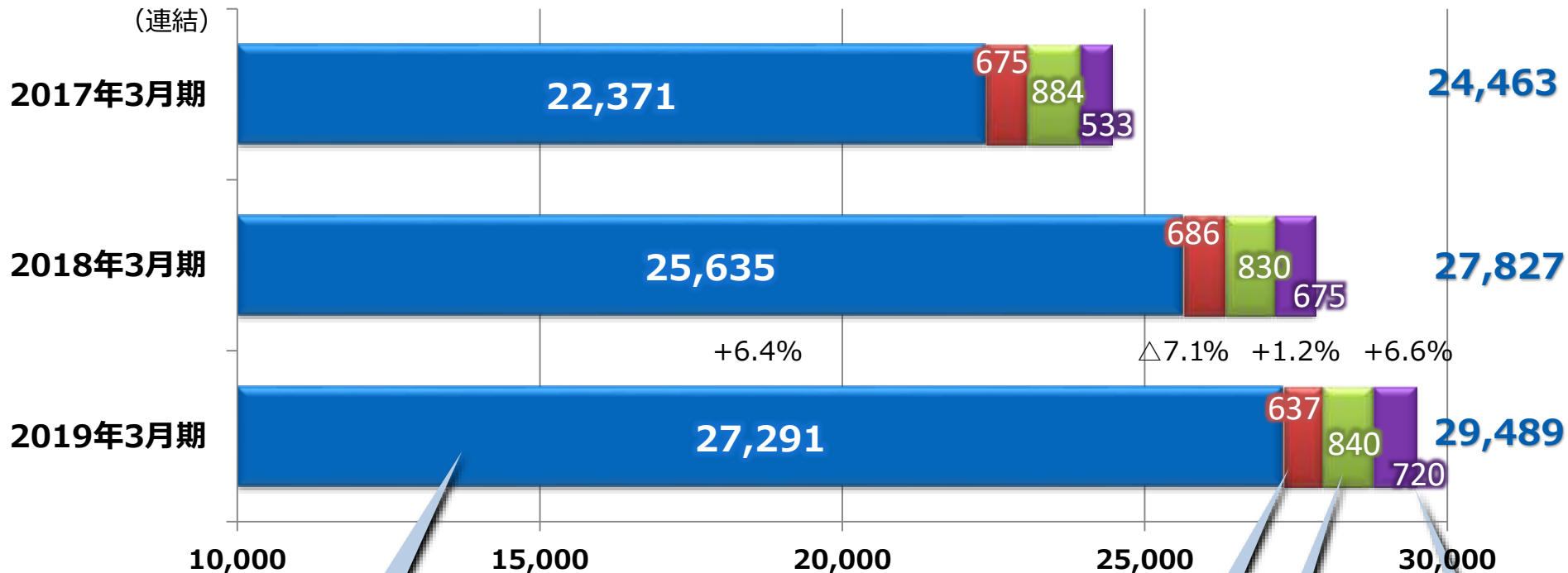
売上伸長率 < 販管費伸長率 により
 営業利益が当初目標に未達
 ※3月の販管費が予定より下回ったため修正値よりは上回る

製品等の廃棄及び子会社に係る
 特別損失293百万円が影響

売上高の状況：事業別

■ **コンタクト** ■ **ケア用品** ■ **眼鏡** ■ **その他**

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



ワンデーピュア 9%増
サークル・カラー 2%増
ワンデーファイン 6%増
2ウィークピュア 7%増

※対前期増減比率は単体卸売ベース
 ※ワンデーファイン以外はシリーズ合計

ケア市場縮小傾向

オルソケラトロジー増加

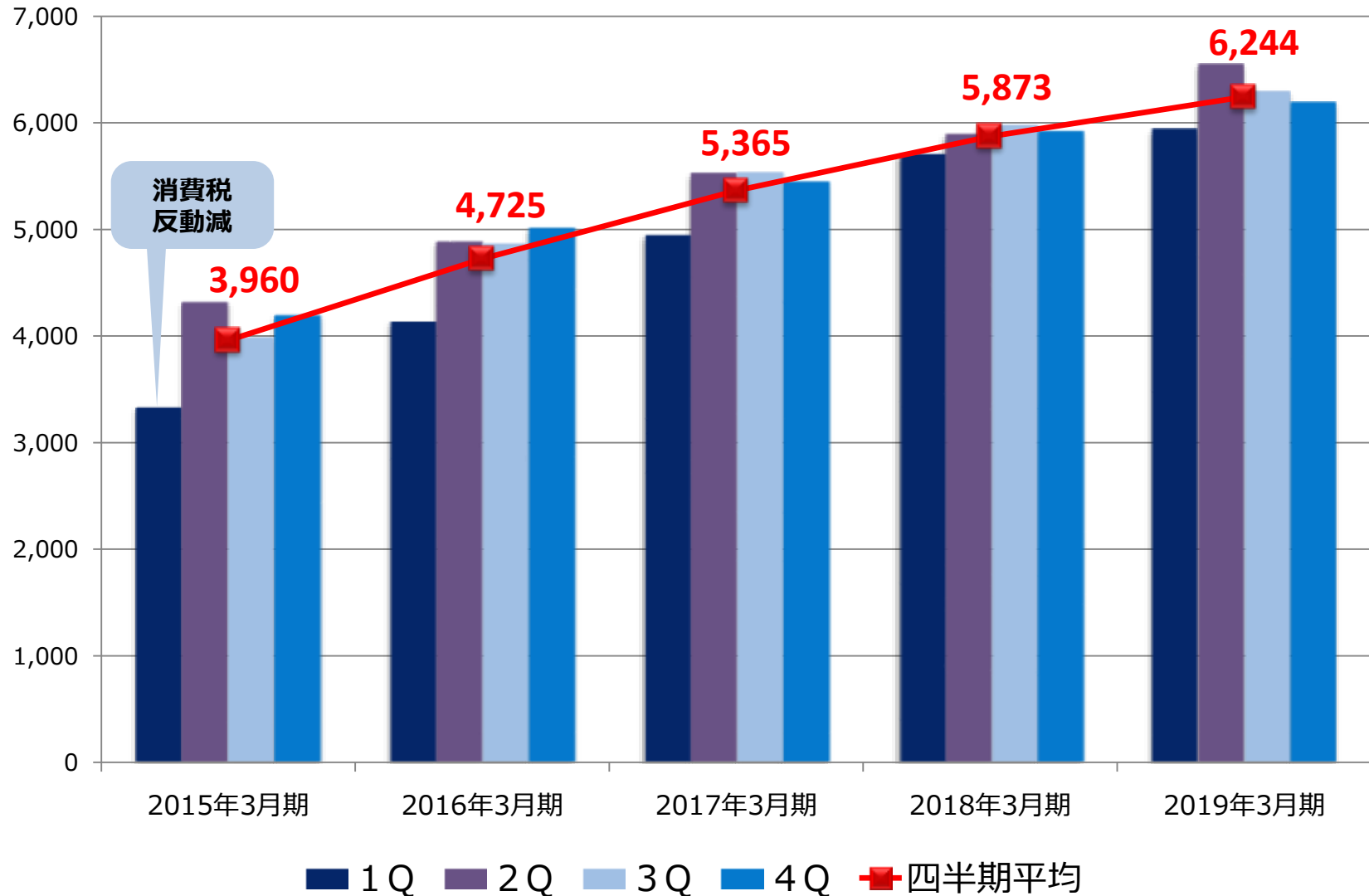
主カブランド好調も、その他ブランド・小売り部門が苦戦しほぼ横ばい

※その他：光学器械・眼内レンズ・オルソケラトロジーなど（決算短信のセグメントとは異なる）

◆当社コンタクト売上高(単体卸売りベース)

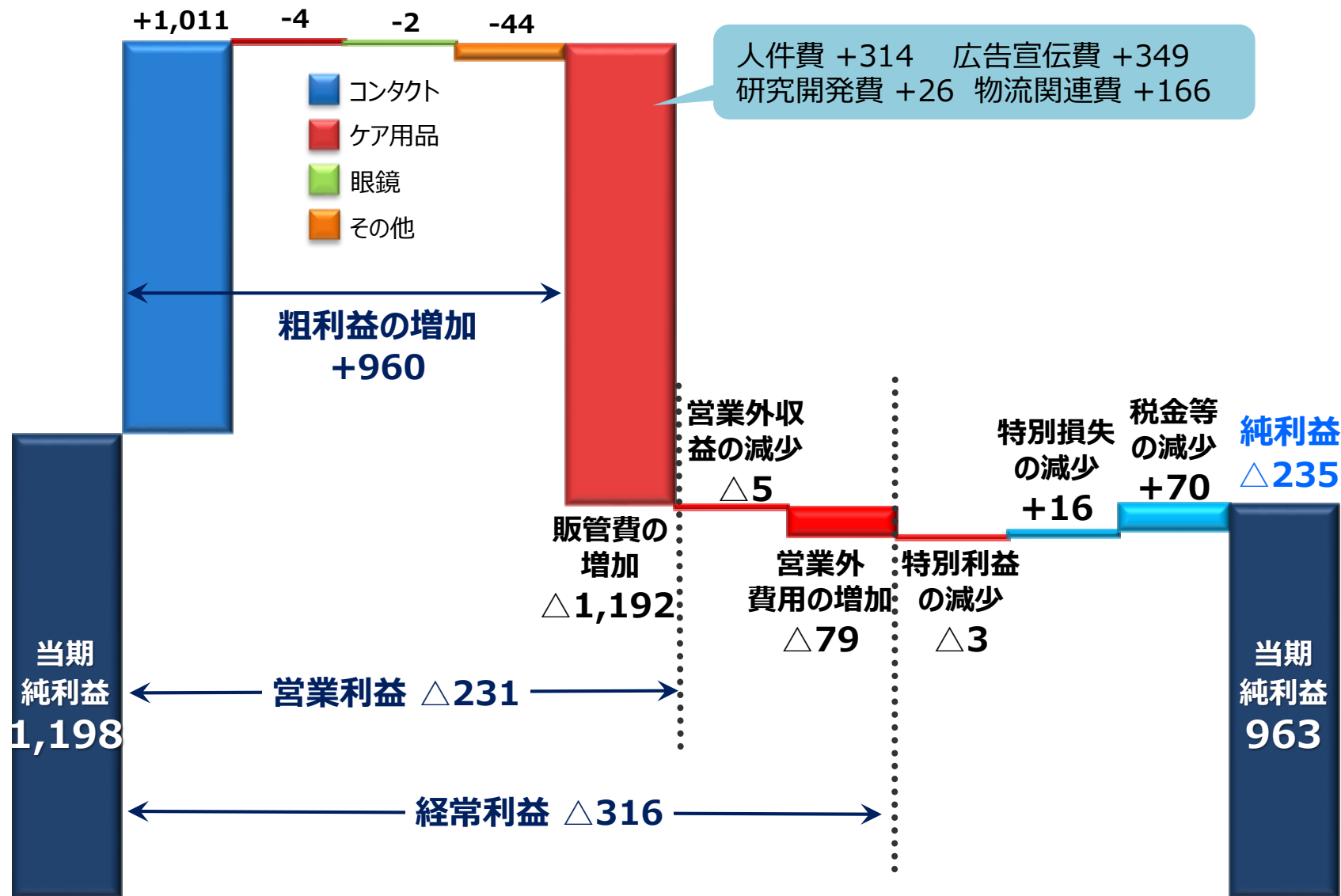
(連結)

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

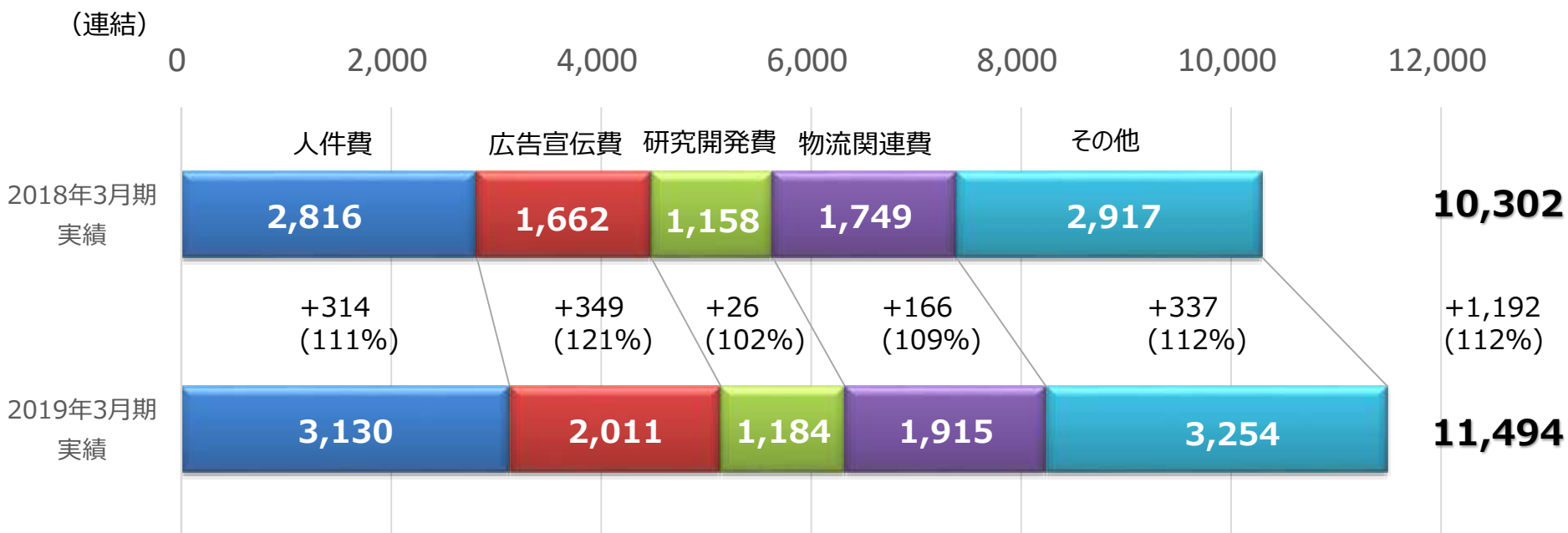


利益増減分析

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



金額単位：百万円 百万円未満切捨て



- **人件費** : 新卒・中途採用の強化による人員増、教育訓練費
- **広告宣伝費** : TVCM (Pureシリーズ、JILL)、新商品発売経費、イベント
- **研究開発費** : 前期比微増に留まる
- **物流関連費** : 出荷数増加、配送費値上げの影響
- **その他** : 海外CLメーカー買収に伴う経費、新商品のトライアルレンズ費用、減価償却費など

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2018年3月期		2019年3月期		前期末比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	34,726	100.0	39,946	100.0	+5,220
流動資産	12,837	37.0	17,131	42.9	+4,294
内 現預金	1,780	5.1	2,631	6.6	+851
たな卸資産	4,259	12.3	6,857	17.2	+2,598
固定資産	21,888	63.0	22,814	57.1	+926
内 有形固定資産	18,641	53.7	19,101	47.8	+460
無形固定資産	892	2.6	1,434	3.6	+542
負債の部計	24,643	71.0	29,169	73.0	+4,526
流動負債	14,511	41.8	18,291	45.8	+3,780
内 短期借入金	8,666	25.0	12,985	32.5	+4,319
固定負債	10,131	29.2	10,878	27.2	+747
内 長期借入金	5,407	15.6	5,217	13.1	△ 190
長期リース債務	2,826	8.1	2,656	6.6	△ 170
純資産の部計	10,082	29.0	10,776	27.0	+694
負債・純資産計	34,726	100.0	39,946	100.0	+5,220

新商品ローンチによる
初期在庫の増加

海外子会社の
のれん計上に伴う増加

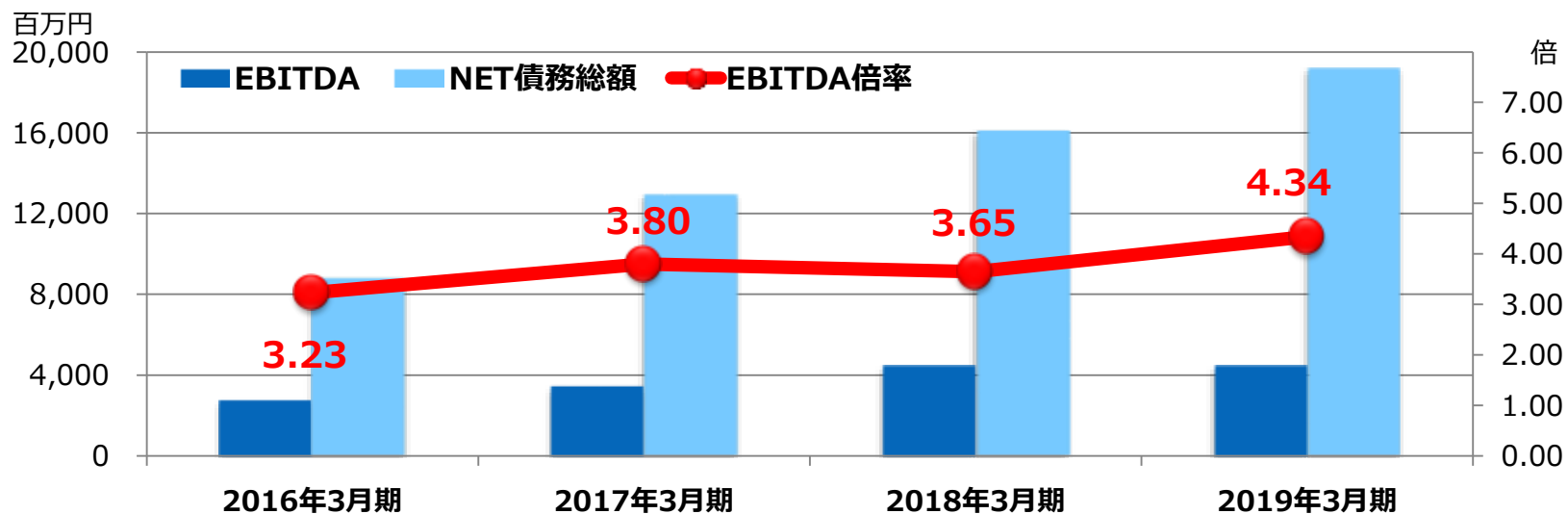
子会社の運転資金
新商品の在庫拡充
鴻巣研究所の設備導入

	2018年3月期	2019年3月期	前期比較	金額単位：百万円 百万円未満切捨て
営業活動によるC・F	3,012	△170	△3,182	
内 税金等調整前純利益	1,854	1,551	△303	
減価償却費	1,973	2,273	+300	新商品ローンチによる 初期在庫の増加
たな卸資産の増減	△385	△2,270	△1,885	
その他	△235	△1,039	△804	合否判定前在庫の 仮払金
法人税等の支払額	△550	△920	△370	
投資活動によるC・F	△5,312	△1,895	+3,417	
内 有形固定資産取得支出	△3,790	△1,513	+2,277	鴻巣研究所の新規 設備導入
連結範囲の変更を伴う子会社 株式の取得による収入	—	347	+347	
関係会社株式の取得による支出	—	△133	△133	
預け金の預け入れによる支出	△1,196	—	+1,196	海外子会社を連結対象 に加えたことによる増加 ※株式取得の対価は前期に支払済
財務活動によるC・F	2,177	2,957	+780	
内 短期借入金の純増減額	1,316	4,295	+2,979	運転資金 新商品の在庫拡充
長期借入金の借入	4,000	2,105	△1,895	
長期借入金の返済	△1,865	△2,286	△421	
現金及び現金同等物期首残高・換算差額等	1,903	1,739	△164	
現金及び現金同等物 期末残高	1,780	2,631	+851	

キャッシュ・フロー関連指標推移①

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

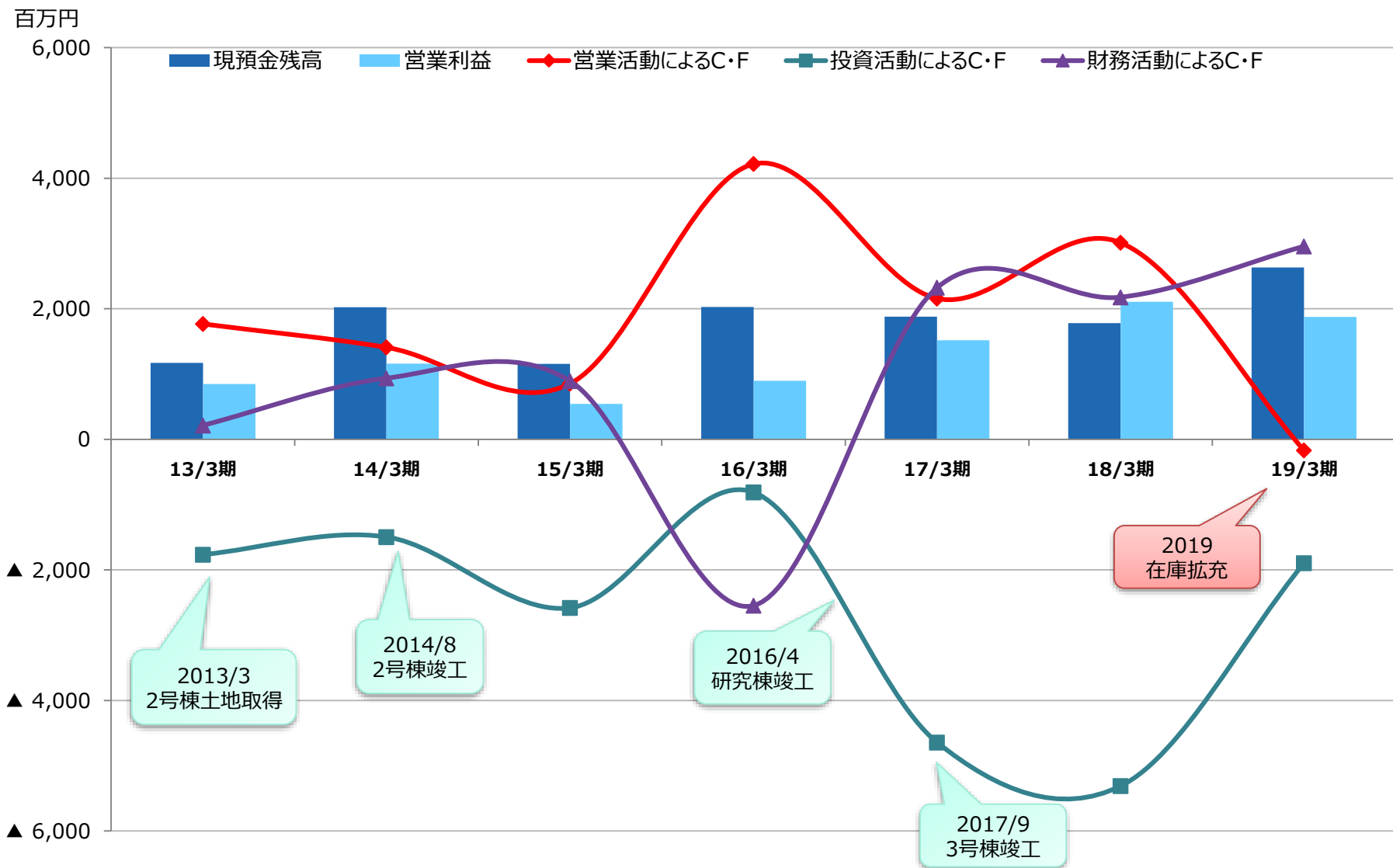
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
営業活動によるC・F	4,217	2,158	3,012	△170
投資活動によるC・F	△811	△4,643	△5,312	△1,895
財務活動によるC・F	△2,548	2,322	2,177	2,957
EBITDA	2,729	3,406	4,422	4,415
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	12.5%	13.9%	15.9%	15.0%



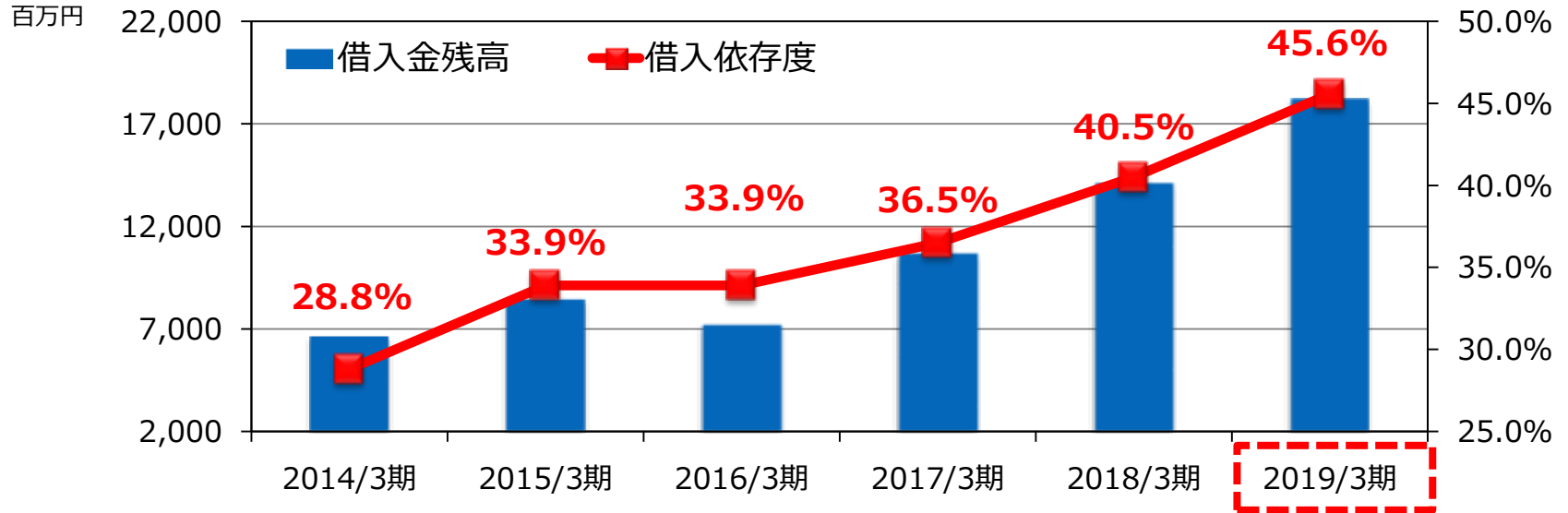
※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息

※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

キャッシュ・フロー関連指標推移②

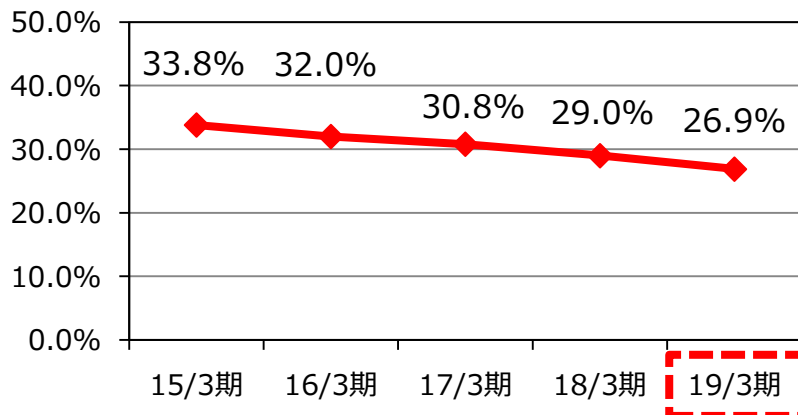


◆借入金の推移

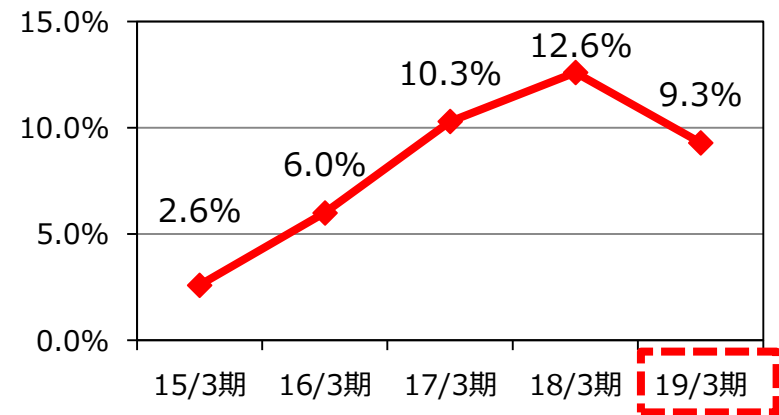


※借入依存度 = 有利子負債 / 総資産

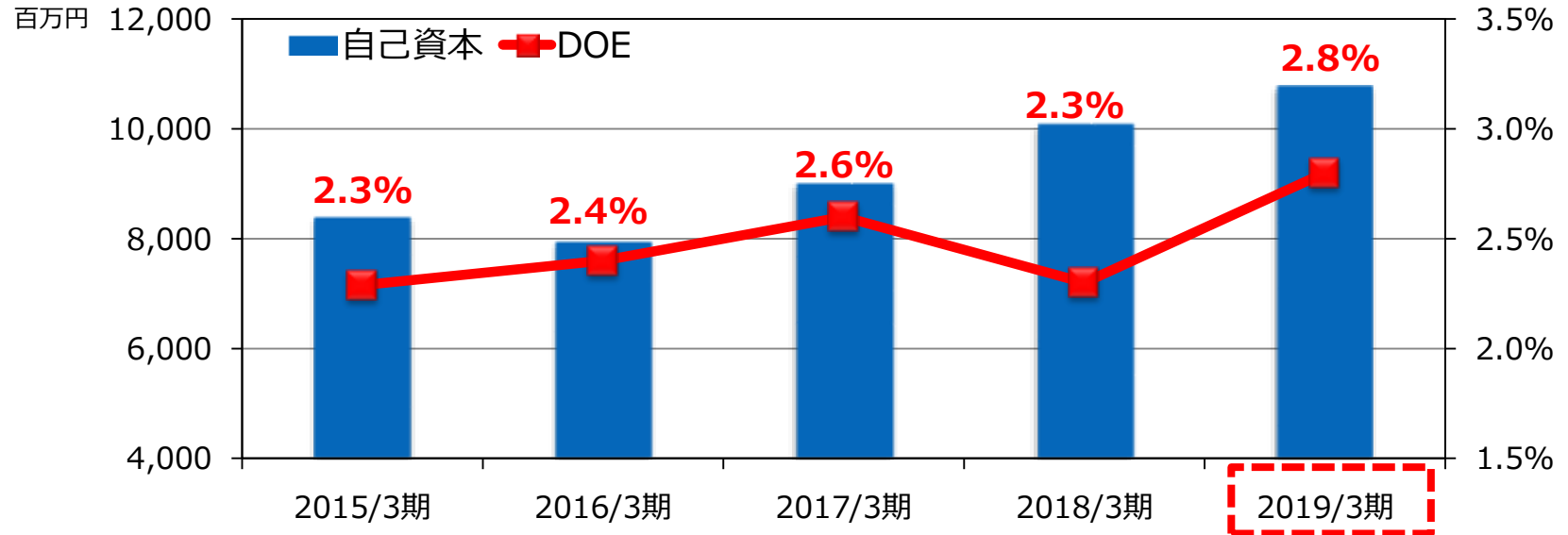
◆自己資本比率



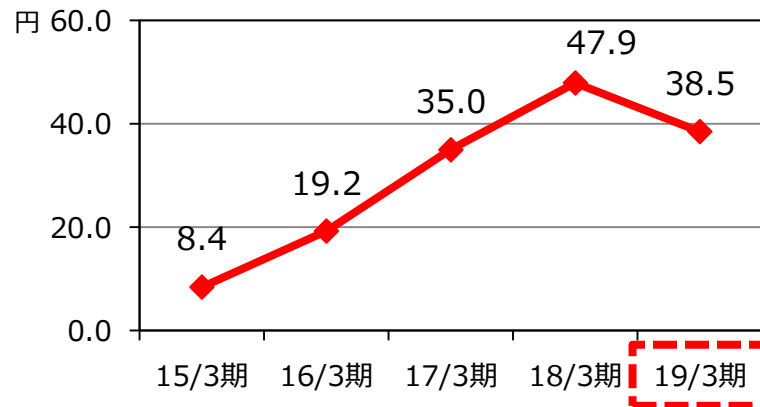
◆自己資本当期純利益率 (ROE)



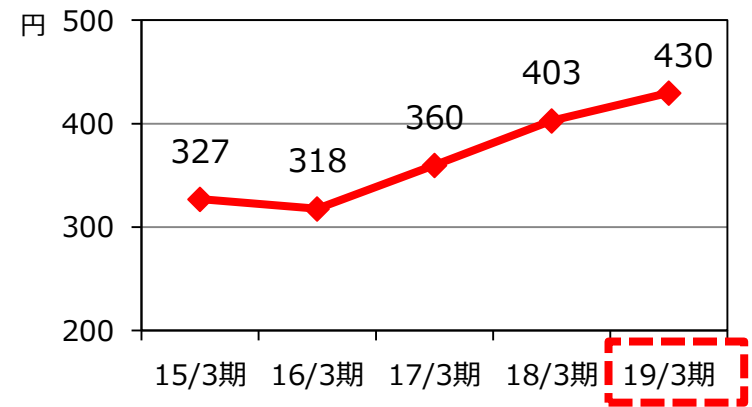
◆株主資本配当率(DOE)



◆1株当たり純利益



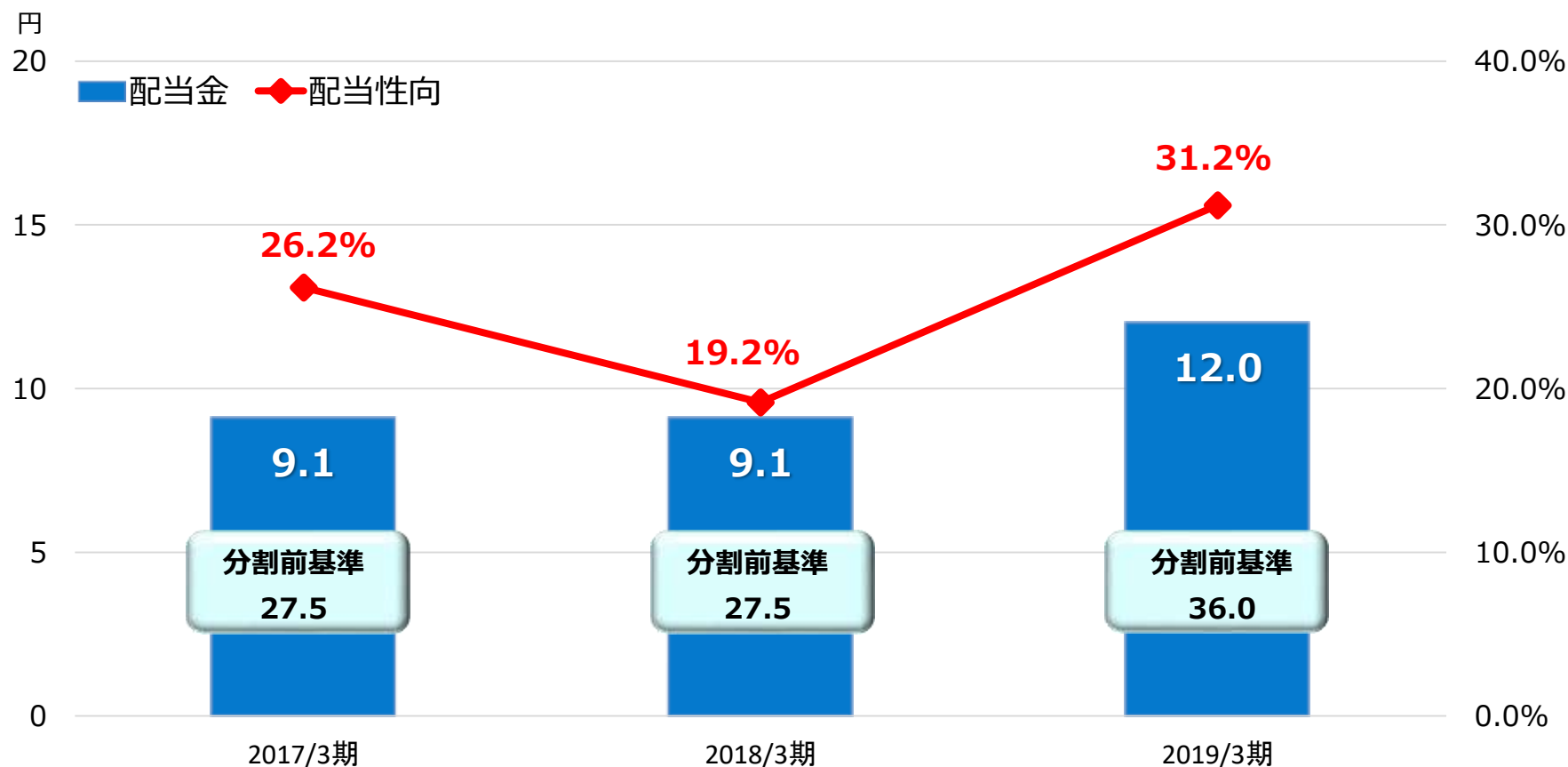
◆1株当たり純資産額



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算出しております。

株主の皆様へ安定的かつ適切な配当継続を実施

2019年3月期は12.0円を予定（分割前基準36.0円）



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金を算出しております。

2. 2020年3月期見通し

2018年6月1日開示 3ヶ年中期経営計画

～ 61年目からの新たな挑戦～
日本のシードから世界のSEEDへ
“より多くのお客様の『見える』をサポートする”

製造メーカーとしての生産規模の拡大と製品の多様化を実現し、
連結売上高400億円を目指す土台作りの3年間と位置付ける

“『*Made in Nippon*』と『*Japan Quality*』のプライドを通じて
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”

日本国内での安定した成長と同時に積極果敢な世界展開を実現
積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
省人化・自動化などの技術力の向上により規模の拡大多品種少量生産を実現
検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズに実現
ダイバシティーと多様な働き方を実現、CSR（企業の社会的責任）の充実

6月アップデート予定

連結売上高 グループ初の330億円突破を目指す

- **ワンデーピュアシリーズを基盤とした機能性商品
+新商品・リニューアル商品の拡販**

CONTACT売上高 約**13.8%** 増

ワンデーピュアシリーズ 約**8%**、サークル・カラー 約**20%**増 (単体卸売ベース)

- **海外子会社の事業拡大**

海外売上 **43億円**、比率 **10%**突破を目指す ※現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

海外子会社の運営強化、当社初のシリコンレンズの展開等

**国際化に対応した体制強化
経費・在庫管理の徹底**

商品・販売戦略

- 高付加価値商品の市場投入
(シリコン素材CL・新光学設計の遠近両用CL)
- 多様化する流通チャネルへの対応強化
- 事業の集中：眼鏡・ケア事業の適正化

財務の健全性向上

- 経費管理の徹底と適正化
- 在庫の削減によりキャッシュを捻出

国際化対応

- 社内の国際化を進め、海外市場での売上拡大を狙う
- 海外子会社であるCLPL・Wöhlkとのシナジー効果
- 中国向け越境ECサイトでの販売開始

生産力拡大

- 生産効率向上による原価低減
- 多品種少量生産への対応

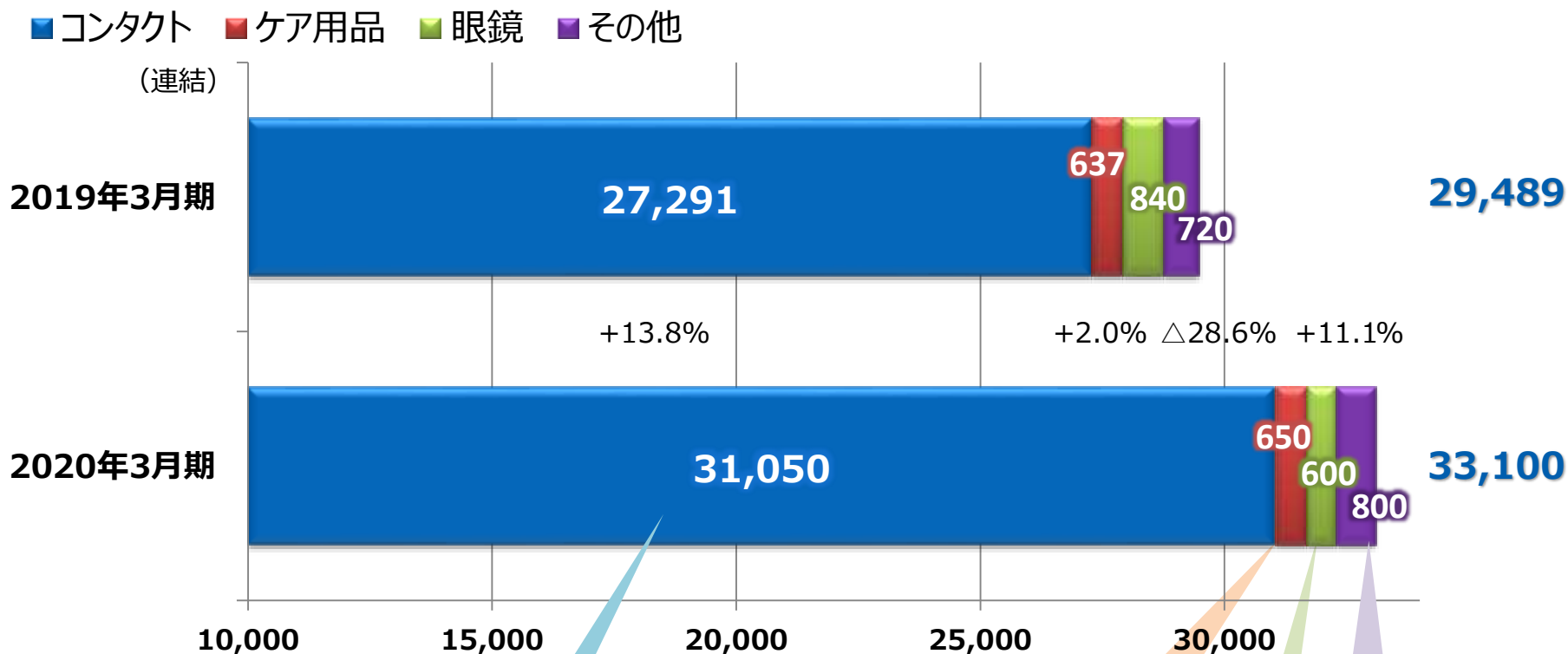
(連結)

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2019年3月期	2020年3月期見通し	前期比較	
売上高	29,489	33,100	3,611	+12.2%
売上総利益	13,369	15,600	2,231	+16.7%
販管費	11,494	13,400	1,906	+16.6%
営業利益	1,874	2,100	226	+12.0%
(営業利益率)	6.4%	6.3%	△0.1%	
経常利益	1,840	2,050	210	+11.4%
当期純利益	963	1,450	487	+50.4%

2020年3月期見通し：売上高事業別

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



- ・ワンデーピュアシリーズの出荷増や新商品の投入
- ・乱視・遠近両用・サークル・カラー等の高付加価値アイテムの販売促進
- ・海外事業拡大により売上高伸長

- ・市場縮小傾向
- ・OEM商材の強化

- ・眼鏡営業拠点集中
- ・眼鏡小売事業縮小

オルソケラトロジー
販売強化

※オルソケラトロジーは、第一四半期決算短信よりセグメントをコンタクトレンズに変更する予定です。

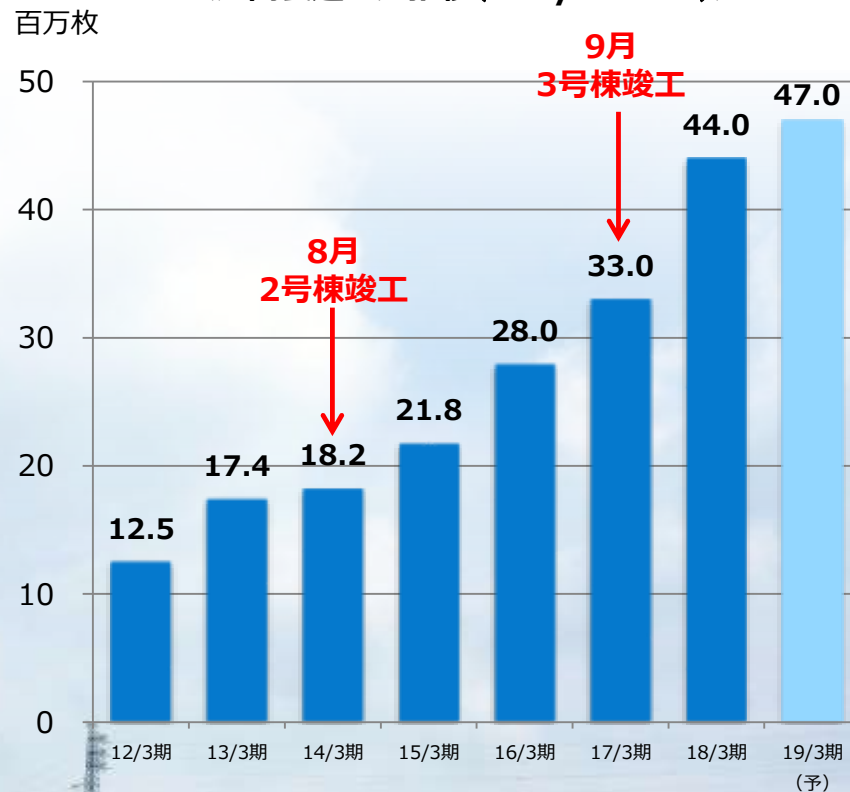
埼玉県にある鴻巣研究所の3つの生産棟（研究棟を除く）は、約4,700万枚/月のコンタクトレンズ製造能力を有しています。

<鴻巣研究所全体の鳥瞰図>



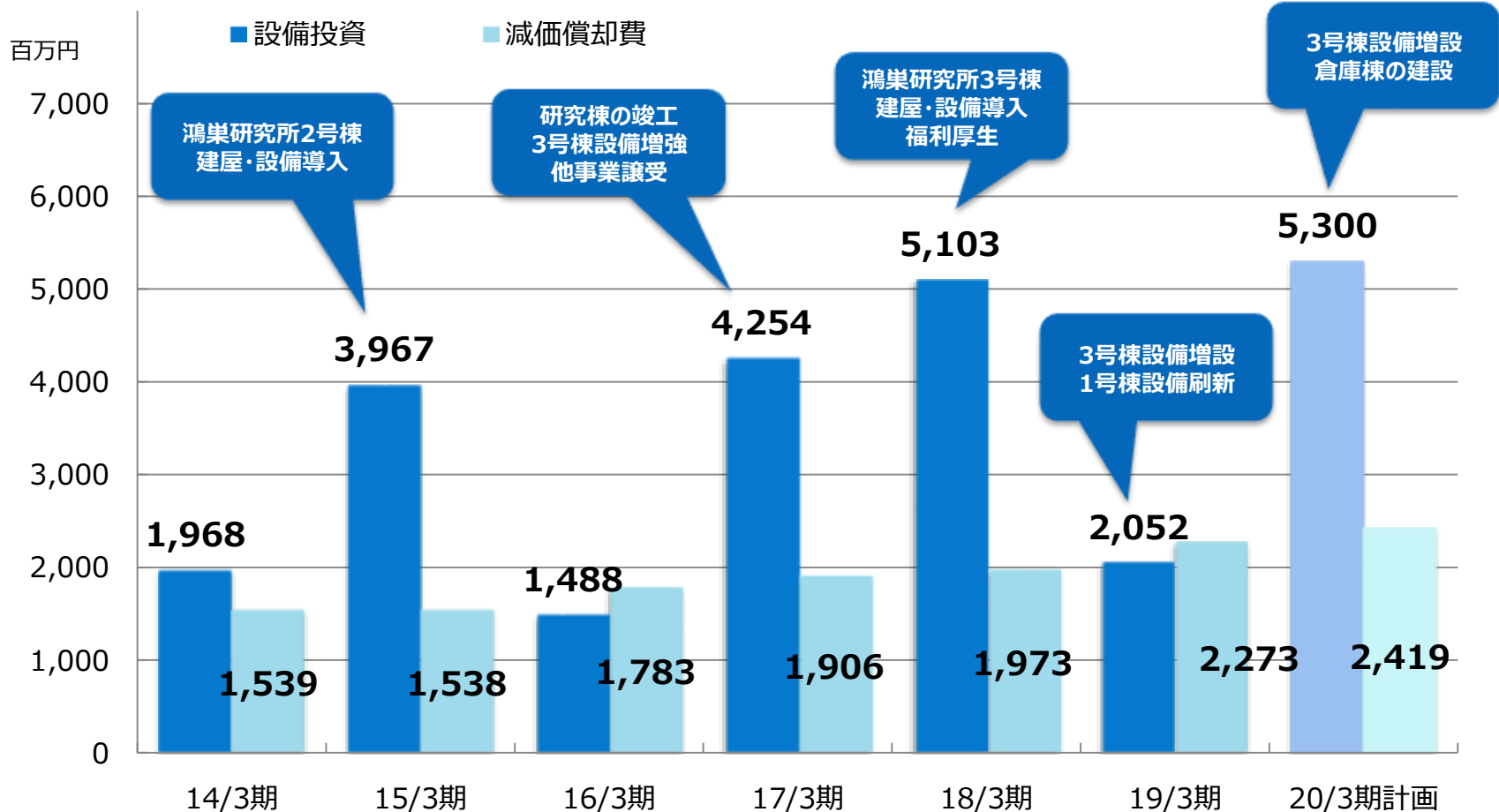
建物名	延べ床面積	ライン
1号棟	約14,200㎡	多品種対応ライン
2号棟	約9,700㎡	大量生産ライン
3号棟	約12,500㎡	大量生産ライン
研究棟	約3,640㎡	—

<月間製造能力推移(1day・2week)>



◆設備投資・減価償却

業容拡大の対応、かつ企業活動継続のための投下



※設備投資額は、有形固定資産ベース(リース資産含む)
 ※減価償却費は、有形・無形(のれん除く)・長期前払費用

非コモディティ製品・DDSコンタクトレンズ・医療分野など、新しい分野にも積極的に進出していきます。

非コモディティ製品

価格競争に陥らない高機能・高付加価値レンズの開発

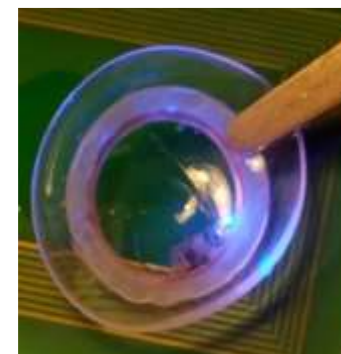
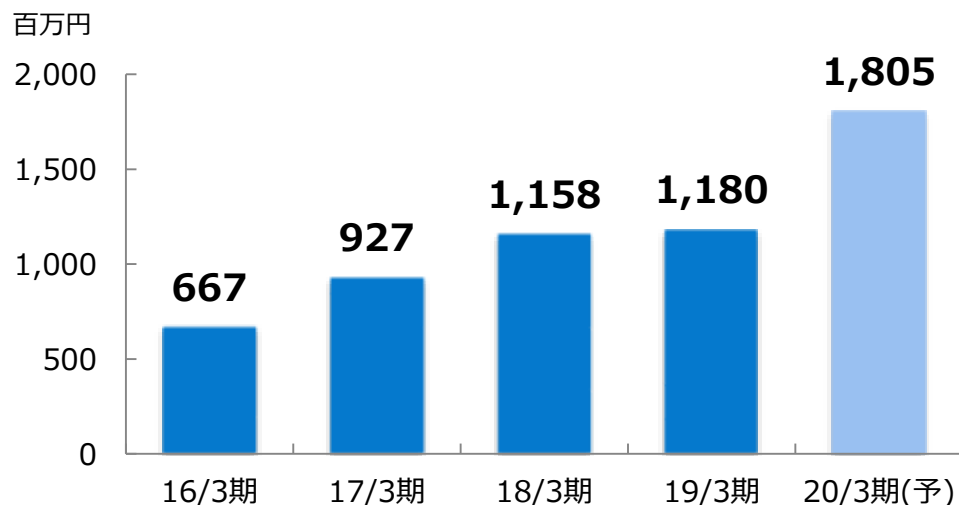
DDSコンタクトレンズ

- DDS（薬物送達システム）コンタクトレンズの承認取得へ向け対応中
- 当技術を応用した、より医療グレードの高い製品の研究

医療分野への進出

センシングなど、医療用、検査用、治療用コンタクトレンズの商業化

次世代市場を創造する研究テーマへR&D投下



LEDライトを搭載したコンタクトレンズ

アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に**27の国と地域**に展開中（2019年3月現在）

既存取引国では、地域の特徴に即した展開を図りながら、未進出国へ積極的にアプローチしています。

※太字は現地法人

ヨーロッパ地域

-  **ベルギー**
-  **イギリス**
-  イタリア
-  デンマーク
-  ノルウェー
-  スウェーデン
-  アイスランド
-  フィンランド
-  **ドイツ**
-  ポルトガル
-  スイス
-  オランダ
-  ハンガリー

NEW

アジア地域

-  **中国**
-  **シンガポール**
-  モンゴル
-  **マレーシア**
-  香港
-  マカオ
-  **台湾**
-  **ベトナム**
-  フィリピン
-  インドネシア
-  インド
-  レバノン
-  **バングラデシュ**

Made in Nippon/Japan Qualityを世界へ

アジア地域、欧州市場ともに、ニーズを的確に把握し多様な商品展開をおこなっていきます。

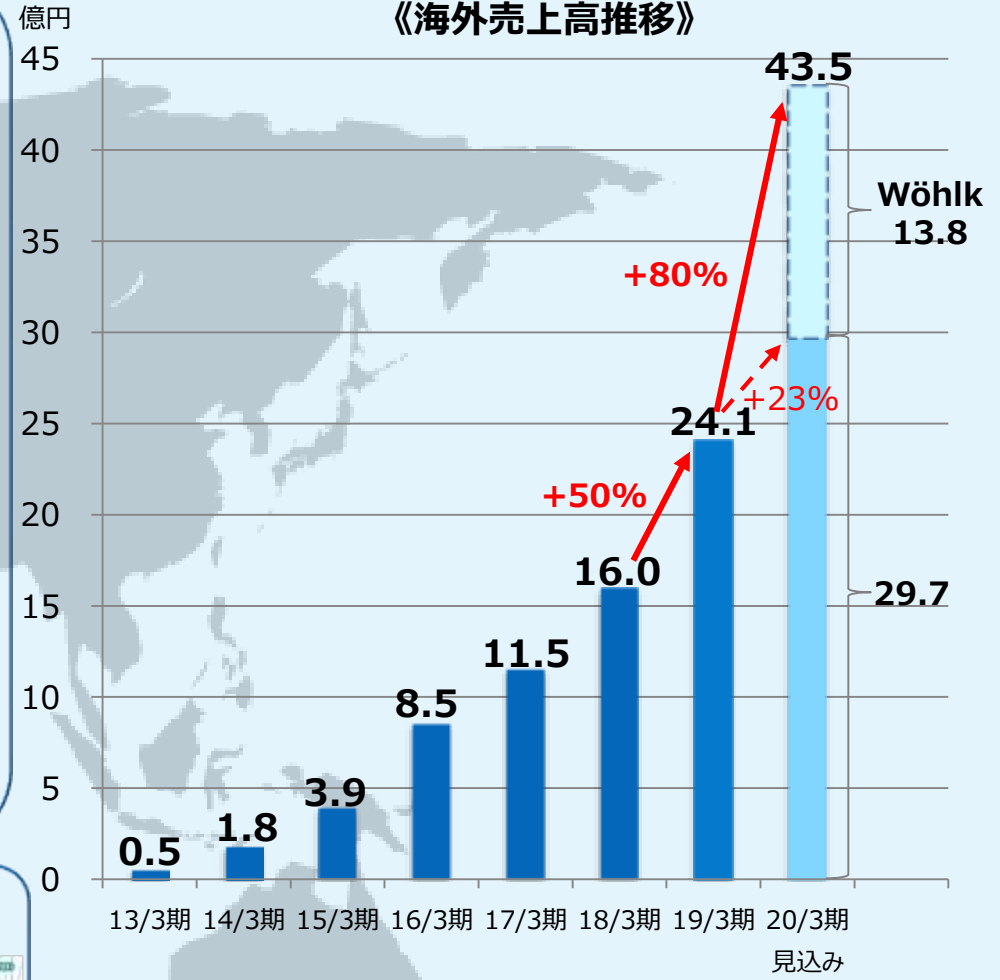
〈中国・台湾等現地の主要商品群〉



〈欧州向けCE適合商品〉



《海外売上高推移》



※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

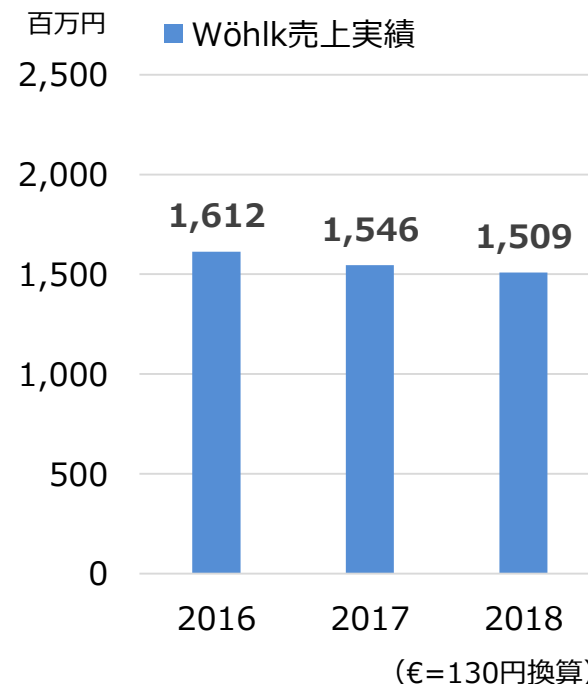
2019年3月 独Wöhlk（ボルク）の株式を40%取得、連結子会社化

概要

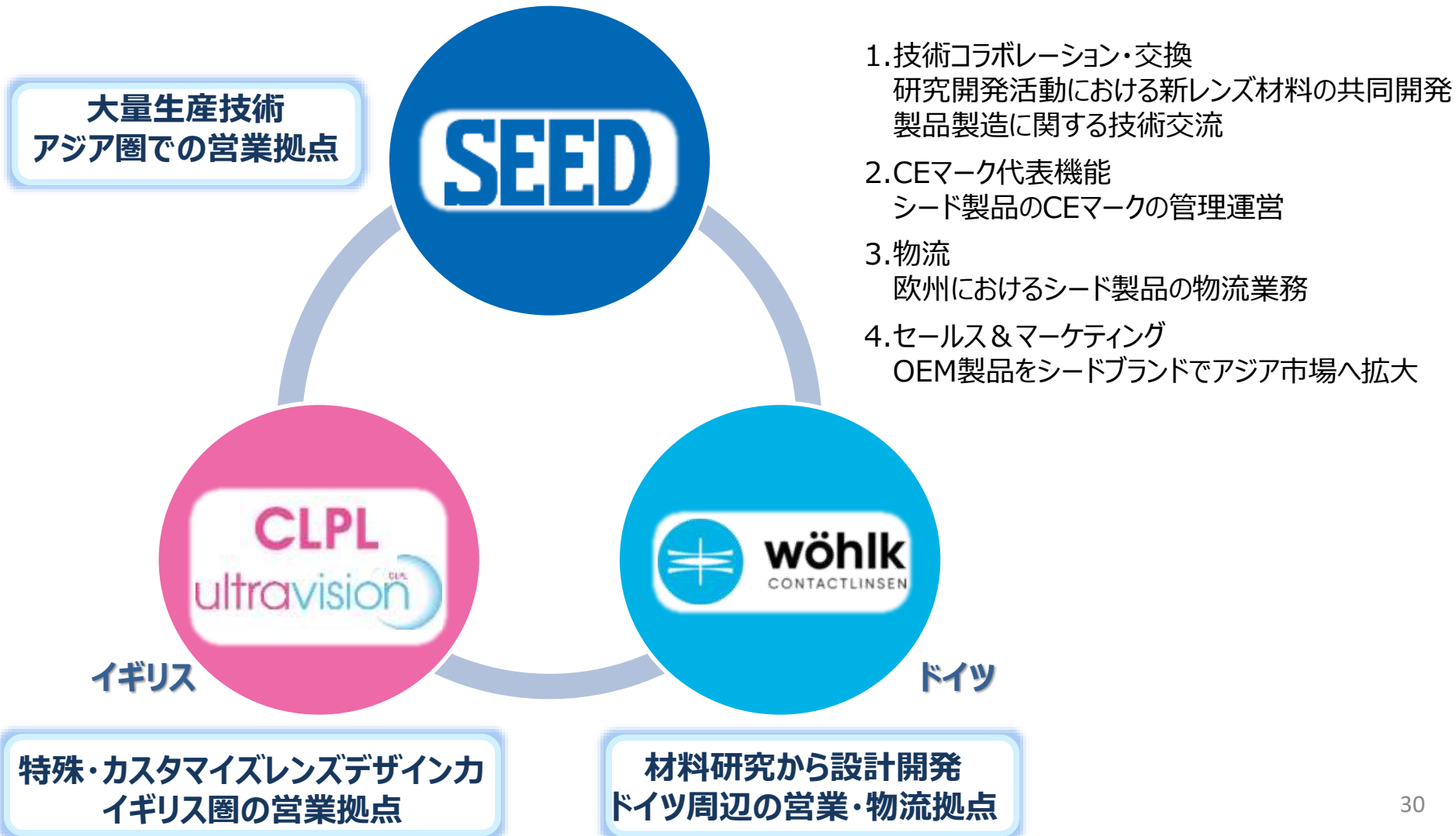
- ・1948年設立。コンタクトレンズの材料研究から設計開発、製品の製造・販売まで幅広い業務を手掛ける。
- ・2014年より当社シリコンハイドロゲルレンズの開発や、ZEISSブランドの当社からの提供等で協働。

今後の展望

- ・特殊コンタクトレンズやシリコンハイドロゲルレンズの技術力や、当社のドイツ周辺の営業拠点としての役割を担う。



3社間で商品の相互供給や共同開発、ライセンス付与等を対象に「効率的な製造・販売体制の構築」を推進



当社初のシリコンハイドロゲルレンズ CEマーキング取得



2019年度内に、海外において発売を予定しています。

オルソケラトロジーの国内外における普及、拡販を進めることが使命



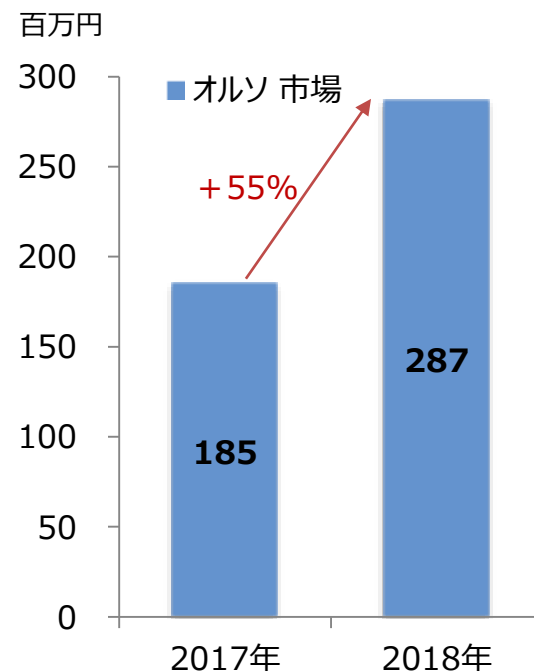
2019年3月 UV株の議決権33.3%を保有、持分法適用関連会社化
 2019年4月 3社でオルソケラトロジーレンズ分野での「共同事業化契約」を締結

3社での協力体制

- ① 営業促進体制を強化
- ② 効果効能の改良に関する協力体制構築
- ③ 物流における効率化への協力
- ④ 販売体制、製品供給体制について再構築

オルソケラトロジーとは？

オルソケラトロジーレンズを就寝前に装用することで睡眠中に角膜の形状が矯正されます。朝起きて外した後も、しばらく角膜の形が矯正された状態で維持され、その間は視力が回復します。



※メーカー出荷額ベース
 (日本コンタクトレンズ協会) 32

プラスチック廃材のリサイクル

ブリスター回収による再製品化リサイクル活動を実施しています



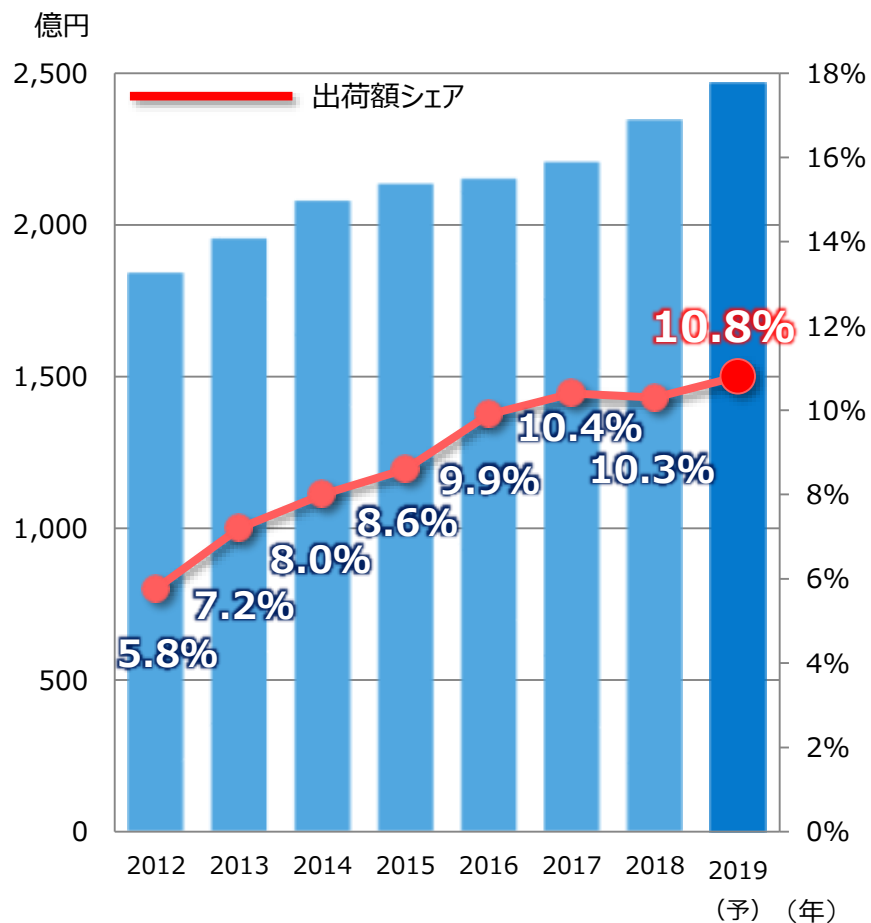
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

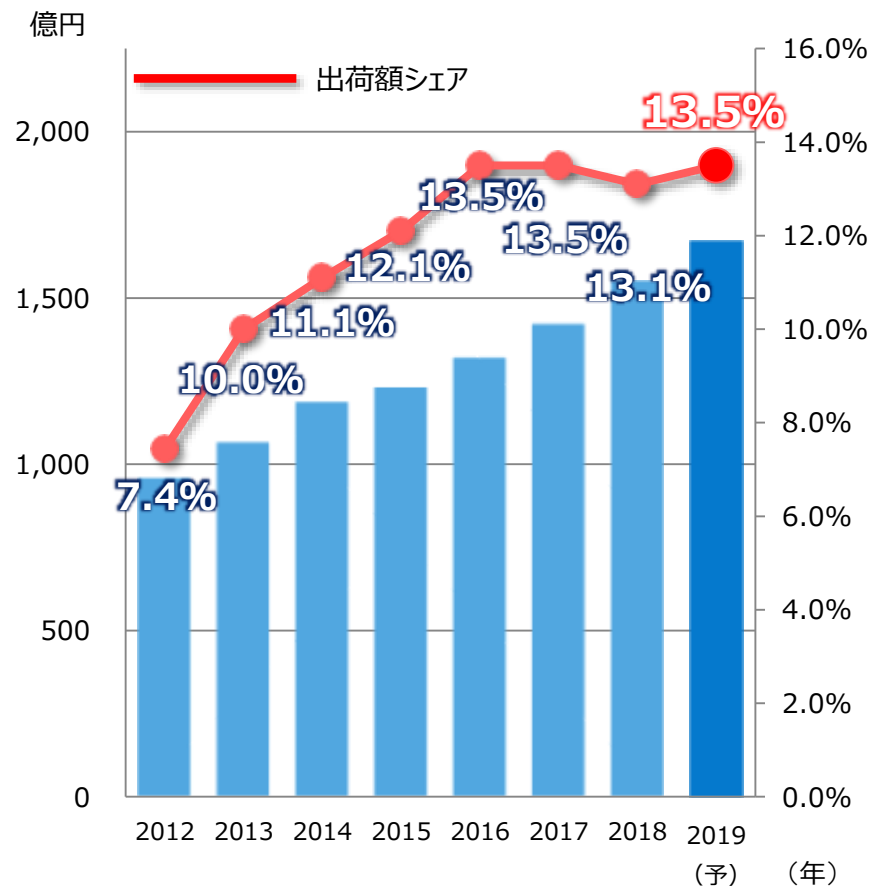


当社は、国連の掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち、5つに貢献しています。

《コンタクトレンズ市場と当社シェア》



《1日使い捨てタイプ市場と当社シェア》



※メーカー出荷額ベース(当社推計:日本コンタクトレンズ協会出荷額調査ベース)

參考資料

- 本社：東京都文京区本郷二丁目40番2号 ■ 設立：1957年10月9日(昭和32年)
- 上場：1989年12月(平成元年12月) 店頭公開(現 JASDAQ市場)
- 資本金：1,841百万円
- 従業員：977名(連結)※2019年3月31日現在
- 営業所：8 (札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11 (盛岡・静岡 他) ※2019年3月31日現在
- 工場・研究所：鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

■ 沿革

- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2017年10月 おかげさまで創立60周年
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園



取扱商品 ～コンタクトレンズ～

1day・2weekコンタクトから、ハードコンタクトまで、幅広い商品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています。

■ 純国産Pureシリーズ



シード1dayPure
うるおいプラス



シード1dayPure
うるおいプラスFlex



シード2weekPure
うるおいプラス



乱視用

シード1dayPure
うるおいプラス乱視用



遠近両用

シード1dayPure
マルチステージ

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード2weekPure
マルチステージ



■ Fineシリーズ

リニューアル



シード1dayFine UV plus



リニューアル

シード2weekFine UV plus

■ サークルレンズシリーズ



リニューアル

シード Eye coffret 1day UV M

NEW 乱視用

シード Eye coffret
1day UV M TORIC

■ カラーレンズ



JILL STUART 1day UV

■ 従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全7種8品



ソフトコンタクトレンズ
全4種

2018年12月25日 新発売



販売名：トリガーフィッシュ センサー 承認番号：23000BZX00272000
販売名：トリガーフィッシュ 承認番号：23000BZX00273000

トリガーフィッシュ センサー（一般的名称：角膜曲率変動測定計）

トリガーフィッシュ（一般的名称：テレメトリー式生体信号測定装置）

コンタクトレンズ型センサーである「トリガーフィッシュ センサー」を検査対象者の眼に装用し、得られた測定信号を「トリガーフィッシュ」にて受信・記録する仕組みにより、眼圧の変化により誘発される角膜曲率の変動を測定し、眼圧変動におけるピークパターンを検出します。

眼科を有する国内の大学病院・総合病院を中心に営業活動をおこない、納入を開始しています。

2019年2月4日 新発売



大人気アイコフレシリーズに乱視用レンズが登場

その日の気分やシチュエーションに合わせて選ぶことができるサークルレンズ「シード Eye coffret 1day UV M」から、1日使い捨て乱視用サークルレンズ「シード Eye coffret 1day UV M TORIC」を発売しました。

2019年2月4日 リニューアル

SEED

もっとうるおう。
しずくレンズ。

シート
1day Fine UV plus

1day

うるおいが瞳を包んで、UVカットで守る。

シート
1day Fine UV plus
シートワンデーファイン UV プラス

販売名：シード1dayFine UV-M 承認番号：230008ZX00074000



うるおい成分を新たに配合したコンタクトレンズ

「シードFine UV シリーズ」が、新しく生まれ変わりました。レンズデザインはそのままに、保存液に天然保湿成分「アルギン酸」を配合し、たっぷりうるおう、こだわりの保水力を実現しました。

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



フォレストリーフ
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



シードゥ ソフトケア ピュア
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

眼鏡事業

イメージキャラクターを採用したオリジナルブランドのメガネフレームなどを展開しています。



プラスミックス
福士蒼汰さんイメージキャラクター



ビビッドムーン
北川景子さんイメージキャラクター



スポーツ選手の「見える」と子どもたちの「夢」を応援します



SEED花道ハイタッチ

2019年5月5日“こどもの日”より開始

シード鴻巣研究所を構えている埼玉県チーム「埼玉西武ライオンズ」とともに子どもたちの夢を応援します



国内連結子会社

株式会社シードアイサービス

株式会社アイスペース

株式会社タワービジョン

* 株式会社ユニバーサルビュー

*持分法適用関連会社

海外子会社

*実瞳商易有限公司 (中華人民共和国)

* Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール共和国)

* SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD
(マレーシア)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd
(イギリス)

SEED CONTACT LENS (ANZ) PTY LTD
(オーストラリア)

* Ultravision international Ltd.
(イギリス)

SEED Contact Lens Europe S.A.
(ベルギー)

* SEED INTERNATIONAL LTD.
(イギリス)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

* : 連結子会社

SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

又はホームページお問い合わせフォーム

https://www.seedcontact.jp/seed/fm_ir/

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。